

GPT-5 ProとGemini 2.5 Pro Deep Thinkの徹底比較

OpenAIのGPT-5 ProとGoogle DeepMindのGemini 2.5 Pro Deep Thinkは、2025年現在、最先端のAIモデルとして注目されています。以下では両者を**11の観点**から比較し、公式発表やレビューをもとに最新情報をまとめます。

比較サマリーテーブル

各項目についてGPT-5 ProとGemini 2.5 Pro Deep Thinkの特徴をまとめた表を示します。

比較項目	GPT-5 Pro	Gemini 2.5 Pro Deep Think
1. 処理速度 (レスポンス速度・同時処理)	高度な連鎖思考により初回応答までに やや時間がかかる場合も （重い質問で初手トークンまで~20秒） ¹ 。ただし並列計算の最適化で 出力速度自体は高速 （秒間~128トークン） ¹ 。Proプランでは 同時チャット数の制限緩和 。	思考モード搭載により応答前に内部推論 を行うが、その後の 出力は非常に高速 ² （“Flash”モデル並みの速度）。ユーザー報告では GPT系より軽快で、レート制限も緩やか （大規模インフラで並列処理に強い） ³ 。
2. 正確性 (事実認識・誤答率)	難問ベンチマークで SOTA性能 を達成し、 事実誤りが大幅減 。例えばGPT-4比で 45%事実誤り減少 ⁴ 、前モデル(o3)比では 思考モード使用時に誤情報80%減 ⁴ 。総じて 幻覚（誤情報生成）発生率が極めて低い 。	高度推論 で正確性向上を図り、 数学・科学系テストで首位 ⁵ 。LMarena人間評価でも トップ ⁶ 。ただし一部ユーザから 最新情報への幻覚 や 浅い検索に留まる傾向 の指摘もあり ⁷ 、 タイムリーな話題では注意が必要 。
3. マルチモーダル対応 (テキスト・画像・音声・コード・PDF理解・生成)	テキスト+画像入力 に標準対応し、 画像や図表の解析・要約が可能 ⁸ 。ChatGPTでは 音声入出力も提供 （Whisperによる音声認識や音声合成） ※。コードやPDFも 長大コンテキスト で解析可能。画像生成は プラグイン 経由で対応。	ネイティブにマルチモーダル対応 （テキスト・画像・音声・動画・コードを統合学習） ⁹ 。 画像や音声を直接入力 でき、動画内容も解析可能。 コードベース全体のインポートや解析も得意 ¹⁰ 。一部モデルは 音声での対話出力 （読み上げ）にも対応。
4. プログラミング支援能力 (コード生成・デバッグ・多言語対応)	最新の コード生成性能 を誇り、競技プログラミング評価で 74.9%正解 ¹¹ と 世界最高水準 。長い マルチステップの問題 も論理的に解析し、エラーも 自動修正傾向 ^{12 13} 。Pythonはもちろん 多言語のコード にも対応（Polyglotベンチマーク88%） ¹¹ 。	高度なコード作成・編集が可能 。従来Gemini 2.0から 大幅飛躍 し、SWEベンチマークで 63.8%達成 ¹⁴ 。 視覚要素を含むWebアプリ生成 や コード変換・挿入も得意 ¹⁴ 。Googleの コード補助ツール （Gemini Code Assist）とも連携し、クラウド上で 複数言語のコード 対応。

比較項目	GPT-5 Pro	Gemini 2.5 Pro Deep Think
5. 創作能力 (小説・詩・マーク文・脚本生成)	豊かな表現力と発想力。 GPT-4よりさらに 情緒的・独創的 な文章を生成し、詩では鮮烈なメタファーや感情の深みが増した ¹⁵ 。物語、マーク文でも 文体やトーンを自在 に調整し、人間らしい創造性を発揮。	整合性の高い 文章生成が得意で、論理的でまとまりのある創作物を出力。物語や脚本も作成可能。ただし 創造的な奇抜さ はやや控えめで、 構成重視 の傾向 ¹⁶ ¹⁷ 。ユーザーの指示次第で改善するが、総じてGPT-5の方が 文学的表現に富む との評価も。
6. データ分析・要約 (複雑なデータセットの要約・グラフ解釈)	100万トークン もの巨大コンテキストに対応し、長大なデータや文書を一度に解析可能 ¹¹ 。ChatGPTの 高度データ解析 機能ではCSVやPDFを読み込んで統計分析・図表生成も可能。グラフ画像も 視覚的に読み取り要約 でき、プレゼン資料の図表説明にも対応 ⁸ 。	100万トークン コンテキスト対応で、大量のテキストやコード、表計算データを一括処理可能 ¹⁸ 。Google Sheets等と連携し、 スプレッドシートの自動分析・表生成 も可能 ¹⁹ 。画像中のチャート解釈や、複数情報源(テキスト・音声・動画)を横断した要約にも強み。
7. 日本語・英語対応 (精度・自然さ・表現力)	英語同等に日本語を流暢 に生成。GPT-4から改良され、日本語でも 自然で豊かな表現 が可能。OpenAIは多言語能力向上に努めており、GPT-5は 各国語で一貫した高品質応答 を示す ²⁰ 。専門分野でも適切な用語選択と文脈理解ができる。	多言語対応に優れた学習 (PaLM 2由来の強み)で、日本語でも 高精度かつ流暢 ²⁰ 。実際、Gemini Ultraは知識テストMMLUで人間超えを達成し多言語理解でもトップクラス ²¹ 。2.5 Proも日本語含む主要言語で 違和感の少ない応答 を生成。ただしごく稀に直訳調になるケースも報告あり。
8. 検索・情報検索能力 (リアルタイム性・RAG)	外部検索やRAG機能 を使用可能。ChatGPTではプラグインやブラウズ機能を通じてWeb検索し最新情報を取得できる。OpenAIの高度モデル(Oシリーズ)では 自発的に検索・計算ツールを使う 設計で ²² ²³ 、GPT-5も必要に応じ 外部知識を組み込んだ回答 が可能。企業向けには自社データのRAG統合も提供。	Google検索とネイティブ統合 され、 最新のWeb情報で回答補強 ²⁴ 。ユーザが尋ねれば自動で検索しニュースや記事から根拠を取得する。実時間データの活用で 常に最新知識を反映 できる点は大きな強み。ただし検索結果の表面的な要約に留まるケースもあり、情報源の確認が推奨される。
9. セキュリティとプライバシー (データ保持・企業利用)	ChatGPT Enterprise では送信データは モデル訓練に使用せず 、必要最小限の期間のみ保存 ²⁵ 。API利用も同様のポリシーで、 入力データの機密性 を確保。SOC2準拠のセキュリティや暗号化通信を備え、企業利用にも耐える。Plusプランでも履歴オフ設定でトレーニング不使用可 ²⁶ 。OpenAIは規制遵守にも積極的。	Google Workspace/Cloud連携 では 企業データを学習に利用せず ²⁷ 、組織の既存のセキュリティポリシー下でAIを安心利用可能 ²⁸ 。Geminiアプリ自体も エンタープライズ級のデータ保護 が実装され ²⁹ 、教育機関や企業向けに提供。一般向け利用では投稿内容がサービス改善に使われる可能性があるため、機密情報の取扱いは要注意。

比較項目	GPT-5 Pro	Gemini 2.5 Pro Deep Think
10. UI/UX （使いやすさ・インターフェース・拡張性）	ChatGPTの洗練されたUIを継承。会話履歴の管理や、コード実行ウィンドウ・プラグインストアなど 充実した機能 を備える。ユーザーは指示をテンプレ化（カスタム指示）することも可能で、開発者向け拡張も豊富。全体的に 直感的で使いやすい との評価。	Geminiアプリ(Bard) は シンプルなチャットUI で手軽に使えるが、機能面ではシンプル。スレッド管理等は限定的で、「ChatGPTのようなUI機能があれば乗り換える」との声もある ³⁰ 。一方で Google製品への統合 が強み：GmailやDocs内から呼び出して文章要約・作成ができ ³¹ 、日常業務への溶け込みやすさというUXの利点がある。
11. 価格体系とコストパフォーマンス	月額 \$20程度 のChatGPT Plus加入でGPT-5 Pro利用可。 API料金 は入力\$1.25/100万トークン、出力\$10/100万トークンと 非常に低価格 に設定され ³² 、同等性能比で 高いコスパ を發揮 ³³ 。GPT-4比でも安価で、性能向上と併せ「費用対効果が大きく向上」との声 ³³ 。	Google One Premium 加入（\$19.99/月）でGemini 2.5 Pro利用可 ³⁴ 。 API料金 もGPT-5と同水準（基本\$10/100万トークン） ³² だが、 大容量テキスト利用時は割増料金 （>20万トークンで単価上昇） ³² 。無料版はFlashモデル等の限定利用。総合的には 価格帯は類似 しており、あとはニーズに対する 性能メリット次第 と言える。

※音声入出力： GPT-5自体はテキストモデルですが、ChatGPTアプリで音声入力（Whisper利用）や合成音声出力が提供されています。

以下、それぞれの項目について詳細に解説します。

1. 処理速度（レスポンスタイムや同時処理能力）

GPT-5 Proは、大規模モデルゆえに**初回応答までの待ち時間**が発生する場合があります。特に高度な推論を要する質問では**回答開始までに十数秒程度の「思考」遅延**が見られるケースも報告されています¹。これはGPT-5が**内部で綿密な連鎖的推論を行っている**ためですが、一度出力を開始すれば**毎秒約128トークン**とストリーミング生成速度自体は良好です¹。OpenAIはGPT-5で**効率的な並列計算**を取り入れており、GPT-4に比べ応答速度は向上しています。また、ChatGPTのProプランでは一度に複数のチャットを並行して扱えるほか、高速モード（Turbo相当）の提供も予定されています。もっとも、GPT-5リリース直後は利用集中により**レイテンシが増大**していたとの検証もあり、ピーク時の遅延は課題とされています³⁵。

一方、**Gemini 2.5 Pro Deep Think**は**応答の高速さ**が大きな強みです。Deep Thinkモードでは回答前に**最大20秒程度の内部「考え込み」**を行いますが、その後の**トークン出力はFlashモデル並みに極めて速い**とユーザーは評価しています²。あるユーザーは「**最初に考えてから一気に回答を吐き出す**」とその挙動を表現し、「今まで使った中で最高のモデル。**o1（OpenAIの旧モデル）より賢く速い**」と述べています³⁶。またGoogleの強大なインフラ上で動作することから、**同時リクエスト処理やレート制限も緩やか**です³。実際、他社モデルで見られる厳しい速度制限なく使える点に満足する声もあります。総合すると、**単純な応答レスポンスの体感速度はGemini 2.5 Proが良好**で、GPT-5 Proは**高負荷時に若干遅れる**場合があるものの、**並列処理**などにより十分実用的な応答速度を持つと言えます。

2. 正確性（事実認識・誤答率など）

GPT-5 Proは前世代に比べ事実の正確性が飛躍的に向上しました。OpenAIによる評価でも、ChatGPT GPT-4と比べ事実誤りを含む回答が45%も減少し、高度推論モード（「思考する」設定）では従来モデル(o3)より誤情報含有率が80%低下したと報告されています⁴。つまり幻覚（hallucination）と呼ばれるAIの事実誤認による架空情報の混入が大幅に抑えられているということです。実際、GPT-5は難易度の高い知識問題や推論問題で軒並み新記録を出しており、例えばオープンブック形式でない数学試験AIME 2025で94.6%正答¹¹、総合的な知識・推論テストGPQAで88.4%という過去最高スコアを達成しています¹¹。こうした客観ベンチマークでも、GPT-5の事実ベースの正確性と論理的な一貫性が証明されています。また回答中に参考文献や根拠を内省的に検討する能力も強化されており、ユーザにとって信頼性の高い答えを得やすくなっています。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkも高い正確性を目指して設計されています。GoogleはGemini 2.5系を「thinking model（考えるモデル）」と位置づけ、回答前に内部思考を行うことでパフォーマンスと正確性を向上させています³⁷³⁸。その成果は各種ベンチマークに現れており、例えば数学・科学分野の難問集であるGPQAやAIME 2025で追加の投票などなしにSOTA（最新最高）を記録しました⁵。さらに、人間の知識のフロンティアを測る「Humanity's Last Exam」でも18.8%（ツール未使用部門）とトップクラスの成績を収めています³⁹。また人間評価による総合ベンチマークLMarenaでも大差で1位となっており、スタイルの質も含め総合的に極めて高品質な回答を生成できることが示されています⁶⁴⁰。以上より、Gemini 2.5 Proは論理的で正確な回答が得られるモデルと言えます。

ただし、最新情報やオープンなウェブ知識への対応に関して、一部ユーザから懸念の声もあります。あるレビューでは「Gemini 2.5 Proは強力だがホールディング（考察）の浅さから、最新トピックでは幻覚を起こす傾向がある」と指摘されました⁷。つまり、Web検索機能で見つけた情報を鵜呑みにして表面的な回答をする場合があり、結果として事実と異なる記述が混ざることがあるという指摘です。また「Gemini 2.5 Proが全く根拠を考えず回答しているようだ」と不満を述べるユーザも見られ⁴¹、Deep Thinkモードの有無やバージョンによっては安易な回答を返すケースもあるようです。もっとも、これらはモデルの挙動や設定に起因するもので、通常利用での一般的なQ&AにおいてはGeminiも非常に高精度な事実認識を示します。総合すれば、どちらのモデルも正確性は極めて高いものの、GPT-5 Proは幻覚抑制の点で一歩リードしており⁴、Gemini 2.5 Proも高い学習能力で正確な回答を返すが最新情報の扱いに注意が必要、という評価になります。

3. マルチモーダル対応（テキスト、画像、音声、コード、PDFなどの理解・生成）

GPT-5 ProはマルチモーダルAIとしてテキストと画像の両方を扱えます。これは前身のGPT-4が画像理解機能（GPT-4V）を備えていた流れをくむもので、GPT-5ではビジュアル・空間的な推論能力がさらに強化されました⁸。例えば、グラフや図表を含む画像を入力し「このグラフの内容を説明してください」と尋ねれば、チャートを正しく読み取り要点をまとめることができます⁸。また写真に写ったプレゼンテーション資料を要約したり、間取り図の画像から部屋構成を推測するといった高度な画像解析も可能です⁸。テキストと画像以外にも、ChatGPTアプリでは音声での入出力がサポートされました（2023年のアップデート）。ユーザはマイク入力で日本語や英語の音声質問ができ、モデルの回答を合成音声で聞くこともできます※。もっとも、これはLLM本体の機能というより周辺技術（音声認識のWhisperや音声合成モデル）との組み合わせですが、マルチモーダルな対話体験として実現されています。さらにGPT-5はコードやPDFなど長大テキストファイルの理解も得意です。先述の通り100万トークンという非常に長い文脈を保持できるため、大量のコードベースや何十ページものPDFドキュメントでも一度に読み込んで内容を把握・要約したり、コードであればバグの検出やリファクタリング提案まで行えます。現時点で映像そのものを直接解析・生成する機能は公開されていませんが、一部うわさではGPT-5に動画理解の要素が加わる可能性も取り沙汰されています⁴²。総じて、GPT-5 Proはテキスト・画像（二大モード）を中核に据えつつ、音声やファイル解析も組み合わせ可能なマルチモーダルAIです。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkは生得的にマルチモーダルなモデルです。DeepMindのCEOデミス・ハサビス氏は「Geminiは最初から画像・テキスト・音声を統合的に学習しており、AlphaGo系システムの強みと巨大言語モデルの言語能力を組み合わせたものだ」と語っています⁹。実際、Gemini 1.0（2024年発売）からテキストだけでなく画像や音声を同時に前提知識として訓練されており、2.5 Proでもその方針が受け継がれています。したがって画像や写真を入力して質問したり、音声データを解析するといったことがネイティブに可能です¹⁰。たとえば「この写真に写っている製品の特徴を教えてください」と尋ねたり、音声メモの文字起こしと要約を依頼する、といったマルチモーダルなタスクを一つのモデルでこなせます。またGeminiは動画にも対応しており、短い動画クリップの内容を説明したり映像から情報抽出することも試験的に可能とされています¹⁰（具体的には動画を連続する画像フレームや音声として処理）。さらに特徴的なのは、**コードやプログラム全体をネイティブに扱える**ことです。Googleの発表によれば、Gemini 2.5 Proは「まるごとのコードベース」や「完全なリポジトリ」を取り込んで理解できるとのこと¹⁰。これは例えばGitHub上のプロジェクト全体を読み込み、その中から目的の関数を見つけたりドキュメントを生成したりする能力を示唆します。OpenAI系でもコード解析は可能ですが、一度に扱えるトークン数制約から部分的に読む必要がありました。Gemini 2.5 Proはその長いコンテキストとマルチモーダル能力により、**画像・動画・音声・テキスト・コード**といったあらゆる情報源を統合して理解・生成できる点が強みです。

※ **補足:** OpenAI ChatGPTの音声機能はLLMの出力を音声に変換するテキスト読み上げ、および音声入力のテキスト化です。GPT-5モデル自体が音声波形を直接生成・認識するわけではありません。

4. プログラミング支援能力（コード生成、デバッグ、多言語対応など）

GPT-5 Proはプログラミング支援において飛躍的な性能向上を遂げたモデルです。OpenAIの評価によれば、GPT-5はソフトウェア開発関連のベンチマークで軒並み最高記録を更新しています¹¹。例えば競技プログラミング問題集を解くSWE-Bench (Verified) では**正解率74.9%**を達成し、従来のGPT-4系列やAnthropic Claudeを上回る**世界トップ**のスコアでした¹¹。また多言語のコードを扱う評価(Aider Polyglot)でも**88%**という高い割合で要求を満たし、Pythonだけでなく**Java、C++、JavaScript**等さまざまな言語のコード生成・解析に優れることが示されています¹¹。GPT-5は**ユーザーの曖昧な指示から適切なコードを生成する**能力や、生成したコードを**自らテスト・デバッグして修正提案する**能力も強化されています。OpenAIは「GPT-5は複数のツールを使いこなし、マルチステップの命令を遂行できる」と述べており⁴³、実際にコード実行環境を呼び出して計算を検証したり、必要に応じてウェブ検索でドキュメントを参照するといった**エージェント的な挙動も可能**です²³。これにより、例えば「このデータを分析してグラフ画像として保存するコードを書いて」と頼むと、Pythonコードを書くだけでなく**自らそれを実行して結果を生成する**（ChatGPTのCode Interpreter機能）といった統合的支援が可能です。さらに**高度なアルゴリズム設計**や**既存コードの多言語翻訳**、**バグの原因特定**など、プログラマーが必要とする幅広いタスクで専門家に匹敵する性能を示します¹²¹³。このように、GPT-5 Proは**コード生成の正確さ・多言語性・自己調整能力**において現行最高レベルのプログラミングパートナーと言えます。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkもプログラミングタスクに対して非常に高い能力を持っています。GoogleはGemini開発時から**コード生成とエージェント実行**を重視しており、2.5 Proでは**Gemini 2.0から大きな飛躍**を遂げたと発表しています⁴⁴。具体的には、前述のSWE-Bench (Verified) で**63.8%**という高スコアを記録し、Chain-of-Thoughtを活用したエージェント設定ではトップクラスの性能でした¹⁴。Gemini 2.5 Proは**視覚的に魅力的なウェブアプリや対話型のエージェントコード**の生成に秀で、コードの変換（例えばあるプログラミング言語から別の言語へ書き換え）やコードの部分編集も難くこなします¹⁴。Googleの公式デモでは、「1行の指示から実行可能な**ビデオゲーム**を生成する」という例が紹介され、Gemini 2.5 Proが内部思考によってゲームのコード一式を組み立てる様子が示されました¹⁴。これはGeminiが**与えられた仕様を満たすためにマルチファイルのコード構造を自律的に組み上げられる**ことを意味し、非常に高度なコーディング能力です。またGeminiは**Googleの開発者ツールと深く統合**されており、たとえばVertex AI上で関数呼び出し機能を使い外部APIと連携したり⁴⁵、IntelliJ用の「Gemini Code Assist」プラグインでコード補完・修正提案を受けることも可能です⁴⁶。Google WorkspaceではアプリスクリプトやApps Scriptとも連携でき、**Sheetsのカスタム関数を自動生成**させることもできます¹⁹。さらにGeminiは**複雑なアルゴリズム問題**にも

強く、AlphaGo譲りの強化学習的な発想で解法を導くとも言われます⁴⁷⁴⁸。総じて、Gemini 2.5 Pro Deep Thinkはコードの生成・編集から、開発環境での実行支援、他ツール連携まで幅広くカバーする開発者フレンドリーなAIです。ただしコードコンテスト系の厳密な正確性では、公開時点ではGPT-5が僅かにリードしているとの指摘もあります⁴⁹³²（OpenAI CEOも「GPT-5はあらゆる用途で最高ではないが、特にコーディング用途では非常に競争力が高い」と述べています⁵⁰）。とはいえ、Geminiも多くの場面で**実用十分なコーディング能力**を示すため、用途や環境に応じてどちらも強力なコーディング支援ツールとなるでしょう。

5. 創作能力（小説、詩、マーケティング文、脚本などの生成力）

GPT-5 Proは創作分野で極めて優れた才能を発揮します。前世代のGPT-4も小説の執筆や詩の作成、マーケティングコピーの生成で人間に迫る力量を示していましたが、GPT-5では**表現の豊かさ**と**一貫性がさらに向上**しています。OpenAIの公開した例では、京都の未亡人を題材にした詩の生成比較で、GPT-5はGPT-4を上回る**深い情緒と鮮烈な比喩**を織り交ぜた作品を作り上げました¹⁵。例えば「黒い旗——もう存在しない国の」といった印象的なメタファーや文化的情景描写を盛り込み、読後に強い余韻を残す詩を生成しています⁵¹。これはGPT-5が**抽象概念の捉え方や感情表現の巧みさ**で一段と洗練されたことを物語っています。またGPT-5は**文章スタイルを自在に変化**させる能力にも優れ、古典的な文体からカジュアルな口語体、専門的なトーンまで**指示に応じて書き分け**ます。プロのコピーライターが行うように、マーケティング文章では製品の訴求ポイントを的確に押さえつつ魅力的なフレーズを織り込み、小説では登場人物の心理描写や対話のリアルさに定評があります。脚本作成でも、シーン描写や台詞回しの自然さが評価されており、**物語構成力**も強化されています（長編の章立てやプロット展開も論理破綻なくこなせるとの報告があります）。総じて、GPT-5 Proは**クリエイティブライティングにおいて現行モデル中トップクラス**であり、その生成物は人間作家の作品に匹敵するクオリティに近づきつつあります。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkも多様なクリエイティブコンテンツ生成に対応しています。小説のプロット作成から詩の執筆、宣伝コピーや脚本のドラフトまで、一通りの創作タスクをこなせます。Geminiが得意とするのは**一貫性と論理性のある文章**で、長い物語でも伏線や設定の矛盾が少なく、筋道の通った展開を作りやすい点が評価されています⁵²。また、文章は技術書のように精緻で構造的とも評され、必要に応じて**長文でもスタイルを崩さず書ける**能力があります⁵³。これはGeminiの長大なコンテキスト処理能力（最大100万トークン）が生きており、**長編小説や脚本を一貫した筆致で書き切る**際に有利です⁵³。一方で、一部の指摘として「**創造的な自発性がやや控えめ**」という評価もあります¹⁷。Deep Thinkにより論理的整合性を重視するあまり、奇抜なアイデアや詩的な飛躍が少なく、**技巧的だが平板に感じる**ケースがあるというものです¹⁷。実際、Geminiの出力は**構成が整っている反面、安全で無難な表現**になりがちとの意見も見られます⁵⁴。もっとも、これは逆に言えば**ユーザーの指示次第で自在に色付け可能な余地**があるとも取れます。事実、クリエイティブモードで指示を工夫すればユーモラスな文章や感情豊かな物語も十分生成できます。Googleの内部テストでも、Geminiは詩的文章で高評価を得た例があるようです。ただ総合的に見ると、**純粋な文章表現の妙や斬新な発想力**ではGPT-5が一枚上手である可能性が高く、Geminiは**安定感のある創作**が得意だが**突出した芸術性**はやや抑えめ、という対比になるでしょう¹⁶¹⁷。

6. データ分析と要約力（複雑なデータセットの要約やグラフ解釈）

GPT-5 Proは大規模データの解析と要約にも優れています。最大100万トークンもの文脈を一度に処理できるため、たとえば**膨大なCSVデータや何百ページもの報告書**を丸ごと読み込んで分析し、主要な傾向を要約する、といった使い方が可能です¹¹。ChatGPTでは「高度データ分析 (Advanced Data Analysis)」機能が提供されており、ユーザはExcelやCSVファイル、PDFドキュメントなどをアップロードしてモデルに解析させることができます。この機能では裏でPythonスクリプトを実行でき、GPT-5が**統計解析や可視化（プロット作成）**を自動で行い、洞察を報告することもできます。例えば「この販売データセットのトレンドを分析して可視化してください」と依頼すれば、GPT-5はデータを読み込んで売上推移のグラフを生成し、重要なポイントを言語で解説するといった**データサイエンス的な出力**が得られます。さらにGPT-5は**視覚情報の要約**にも長けています。画像中のグラフや図表を読み取り、重要な数値や相関関係を文章で説明できます⁸。例え

ば折れ線グラフのトレンドや相関図の示唆する因果関係なども把握し、専門家が分析するような解説を加えてくれます。これらの機能により、GPT-5は**複雑なデータセットから有益な情報を引き出して簡潔にまとめる**頼れるアシスタントとなっています。また要約能力も卓越しており、長文記事や学術論文を読み込んで5点要約する、複数文書と比較して共通点・相違点を列挙するといった高度な要約タスクも難なくこなします。OpenAIの評価では、大学レベルの科学論文の長文問題でもGPT-5は少ない出力トークンで高得点の回答を導いたとされ⁵⁵、**少ない言葉で本質を掴む要約力**が示唆されています。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkも大規模データの統合分析に向けた機能を多く備えています。まずコンテキスト長はGPT-5同様に約100万トークンと非常に大きく、例えば**数百ページに及ぶ技術文書や巨大なデータセット**でも一度に投入して処理できます¹⁸。GoogleはGeminiを自社の様々なサービスと連携させており、特に**Google Workspace**でのデータ分析に力を発揮します。具体的には、Googleスプレッドシート（Sheets）上でGeminiがデータを読んで**自動的にグラフやピボットテーブルを作成**したり、長文のGoogleドキュメントを要約したりする機能が提供されています³¹¹⁹。例えば、膨大な表データに対し「このデータから年間売上サマリーを作って」と指示すると、Geminiがシート内で計算を行いサマリー表やグラフを生成してくれるといった具合です¹⁹。またGeminiは**マルチモーダル能力**を活かし、異なる形式の情報を組み合わせた分析も得意です。音声記録の文字起こしと要点抽出、動画内容の分析、画像（例えば地図や設計図）の注釈など、**様々なデータソースを横断して意味を整理・統合**できます。グラフ解釈についても、画像解析機能を用いてチャートの軸や系列を読み取り、その意味するところを説明できます。実際、Gemini 2.5は学術図表を含むマルチモーダル推論ベンチマーク(MMMU)で高得点を収めており²¹、**視覚情報＋言語情報を合わせて推論**する能力が確認されています。GeminiのDeep Thinkモードは特に**複雑な問題設定でも一貫した推論を可能にする**ため、データの背景にある原因やメカニズムまで踏み込んだ考察を行うことも期待できます。総じて、Gemini 2.5 ProもGPT-5同様に**大量データの分析・要約に秀でたAI**であり、特にGoogleの生態系においてその強みを十分発揮します。

7. 日本語と英語の対応能力（精度、自然さ、表現の豊かさなど）

GPT-5 Proは多言語への対応能力が強化されており、日本語と英語の両方で**高い流暢性と正確性**を示します。そもそもGPT-4の時点で日本語を含む主要言語で人間に近い文章生成が可能でしたが、GPT-5ではさらなる改善が施されています。OpenAIは公式に「GPT-5は学習データに含まれる様々な言語で優れた性能を発揮する」と述べており、事実、GPT-5は**どの言語でも一貫して質の高い回答**を返すことが第三者評価でも確認されています²⁰。例えば、日本語の長文記事を読んで要約させるタスクや、日本語で専門的な質問をするケースでも、自然で的確な応答が得られます。表現面では、日本語特有の敬語や丁寧語、語彙のニュアンスにも注意が払われており、直訳調だったり不自然な敬語になるといった現象は大きく減りました。GPT-5は大規模な多言語コーパスで訓練されているため、方言や俗語にもある程度対応できますし、英語での高度な技術説明を日本語に翻訳するといった**言語間変換**も正確です。また、日本語の俳句や短歌を作成したり、小説の文体模倣をしたりといった**創作分野でも日本語を巧みに操る**ことが可能です。こうした総合力から、GPT-5は日本語・英語のいずれでも**違和感の少ない人間らしい回答**を提供できるモデルとなっています。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkも日本語・英語両対応に優れたモデルです。Googleの言語モデルはPaLM 2などで多言語性能に定評があり、Geminiもその強みを受け継いでいます。Gemini Ultra（最大モデル）は知識テストMMLUで人類初の90%超えを達成しましたが²¹、その中には各国語での常識問題や専門問題も含まれており、多言語理解力の高さを示しています。Gemini 2.5 Proも**Global MMLU**などのベンチマークで高得点を記録しており、例えば多言語の学術問題集でも上位のモデルです⁵⁶。特に日本語に関して、Googleは検索エンジン等で培った大規模日本語データをモデル学習に活かしているとみられ、**日本語の文脈理解や固有名詞の扱い**に強さがあります。実際、ある技術系記事によれば「Gemini Ultraの登場により、ブラジルや日本のユーザも母国語で高品質なAIサービスを同等に受けられるようになった」とされています⁵⁷。これはGeminiが**多言語の壁を感じさせない統一的な性能**を持つことを示唆しています。日本語の具体的な特性について言えば、Geminiは**助詞の使い分けや敬語表現**も概ね良好で、かな漢字変換のミスもほとんど見られませんが、文章の自然さではGPT-5とほぼ互角との評価が多いですが、一部ユーザは「GPT-5の方が微妙なニュアンス表現で優れる」あるいは「Geminiの日本語は丁寧だがやや直訳的」といった感想を述べています。これは

好みの問題もありますが、両モデル共に十分高度なため**大差はない**とも言えます。補足すると、Geminiは**英語以外の多言語**（例えばスペイン語や中国語など）にも幅広く対応しており、生成品質のばらつきが少ない点は評価ポイントです⁵⁸。総じて、日本語VS英語対応については**GPT-5 ProもGemini 2.5 Proもトップレベル**であり、ユーザが日本語で対話しても英語同様の精度と自然さで応答できるAIとなっています。

8. 検索支援・情報検索の能力（RAGやWeb検索を使ったリアルタイム性）

GPT-5 Proは外部情報を取得して回答に反映する能力を備えています。ただしその実現にはChatGPTの拡張機能を利用する形が主です。2023年頃からChatGPTには「ブラウジング機能（Browse）」が提供され、Bingベースでインターネット検索が可能になりました（現在はOpenAI純正のブラウザープラグインも存在）。GPT-5を搭載したChatGPTでも、この機能を有効にすれば**最新のウェブ記事やニュースを検索して回答**できます。また、ChatGPTプラグイン経由で**ユーザ指定のデータベース**にアクセスしたり、社内のドキュメントを検索して回答する**RAG（Retrieval-Augmented Generation）**も可能です。さらに、OpenAIはGPT-5の強化版として「**エージェント**」的なモデルも展開しており、内部コードネーム「Oシリーズ（例: OpenAI O3）」のモデルでは**ユーザの質問内容に応じて自律的にウェブ検索を実行し、結果を読み取って回答に組み込む**という高度な動作が報告されています^{22 23}。例えば「現在の株価は？将来の見通しも含めて教えて」といった質問に対し、O3モデルは自発的に最新株価をウェブで取得し、経済ニュースも調べた上で回答するといった芸当が可能でした^{22 23}。GPT-5 Pro自体もそうした**ツール利用能力**を受け継いでおり、ChatGPT上でコード実行や検索が必要と判断すればプラグインを呼び出して処理するといった流れを取ることができます。OpenAIの発表によれば、GPT-5は**ツールを使うべき場面を理解し、マルチステップの要求でもエンドツーエンドで遂行**できるよう訓練されているとのこと⁵⁹。そのため企業利用で**社内ナレッジベースと連携**するシナリオや、文中の専門用語を自動で検索補足するようなケースでも威力を発揮します。また、GPT-5は検索を利用することで**事実誤りを大幅に削減**できることも報告されています⁴。総じて、GPT-5 Proはデフォルトではトレーニングデータに基づく応答をしますが、必要に応じ**リアルタイムの情報を取り入れる柔軟性**を持つモデルです。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkはウェブ検索とのシームレスな統合が特徴です。GeminiはGoogle DeepMind製だけあり、**Google検索との親和性**が高く設計されています。実際、Gemini搭載のチャットボット（旧Bard）ではユーザが「インターネットで調べて」と指示しなくても**自動で関連検索を行う**ケースがあります²⁴。Googleの公式説明でも「GeminiモデルはGoogle検索を活用し、リアルタイム情報で回答の事実性を高める」と述べられています²⁴。例えばユーザが時事的な質問（「今年のノーベル賞物理学賞の受賞理由は？」など）をした場合、Gemini 2.5 Proは内部で最新ニュースサイトを検索し、その内容を踏まえて回答を生成します。これはユーザ視点では**常に最新の知見が反映された回答**を得られることを意味します。さらにGeminiは**検索結果を複数参照し、内容を統合して回答**する能力もあります。Bard時代から「Google It」ボタンで検索結果の要約を表示する機能がありましたが、Geminiではそれがより高度に組み込まれています。結果として、**ニュース・統計・天気・株価**など動的に変化する情報についてもGeminiは正確な回答を出せる可能性が高いです。ただし、一部ユーザは前述のように「Geminiの検索は表面的」と指摘する声もあり⁷、その場合は**検索結果そのものをコピーペーストした**だけの**ような答え**になるリスクもあります。この点はモデルの設計上、Deep Thinkモードをオフにした軽量版（Flashモデル）で顕著だった問題かもしれません。Deep Thinkモードでは検索結果をもとに**一段深い推論**を加えることが期待されます。なお、GeminiはGoogle検索だけでなく、社内向けにはGoogle Cloud上で**自社データに対する検索QA**も可能です。たとえばGoogle Cloud Searchや企業内Driveデータと連携し、Geminiが社内ドキュメントを横断検索して回答する、といったソリューションも提供されつつあります。以上のように、Gemini 2.5 Proは**デフォルトで最新ウェブ情報を取得・活用できる点**で利便性が高く、リアルタイム性の要求される質問に対して**即座に正確な回答を生成**する能力に秀でています。

9. セキュリティとプライバシー（データ保持ポリシー、企業利用の観点）

GPT-5 Proを含むOpenAIのサービスでは、**ユーザーデータのプライバシー保護**に注力しています。特に2023年8月にリリースされたChatGPT Enterpriseでは、**ユーザーの入力した会話データはモデルの再学習に一切使用しないと**明言されました²⁵。企業利用では機密情報をAIに入力するケースも多いため、OpenAIは**顧客データは完全に隔離管理**し、モデル改善のために流用しないことを保証しています²⁵。またChatGPT EnterpriseやAPI経由の利用においては、**送受信データの暗号化**やデータ保存期間の短縮（APIでは30日以内の保存で自動削除など）といった措置も取られています⁶⁰。さらに、OpenAIのエンタープライズ契約では利用者が**データの削除や保持期間を柔軟に管理**できるオプションも提供されています²⁶。一方、一般ユーザー向けのChatGPT Plus(GPT-5 Proを含む)では、デフォルトでは会話内容が匿名化された形でモデル改善に使われる可能性がありますが、「**チャット履歴をオフ**」に設定すればこれも除外できます²⁶。これはユーザー自身がプライバシー設定をコントロールできる仕組みです。また、OpenAIは全体として**セキュリティとコンプライアンス**を重視しており、自社モデルをAzure上で動かすなど**大企業水準のセキュリティ基盤**を採用しています⁶¹。例えば金融機関等でも使えるよう、SOC 2(Type II)認証を取得し、GDPR等の各種法規制にも準拠する体制です。さらに、CEOのサム・アルトマン氏が議会証言で「強力なモデルには政府の関与による規制が重要」と述べるなど⁶²、安全なAIの開発・利用について業界トップとしての責任を公言しています。総じて、GPT-5 Pro/ChatGPTは**企業利用でも安心できるデータ保護とセキュリティ**が確保されていると言えるでしょう。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkもセキュリティ・プライバシー面の配慮がなされています。Googleはもともと企業向けクラウドサービスで厳格なデータ保護を行っており、Geminiにおいても例外ではありません。Google Workspace向けのGeminiでは「**送信されたデータはモデルの学習に使用されない**」と公式FAQで明記されており²⁷、ユーザー企業の機密情報が勝手に他社のAI機能改善に使われることはないようになっています。さらに、WorkspaceでGeminiを使う際は既存の組織ポリシー（データ地域制約やDLPポリシーなど）がそのまま適用され、**他のGoogleサービス同様のエンタープライズ級セキュリティ**が提供されます²⁸。たとえば管理者はGeminiの利用権限をユーザーごとに制限したり、出力されたAIコンテンツの監査ログを確認したりできます²⁸²⁹。加えて、2025年にはGeminiアプリ（消費者向けBard改め）が**Googleのコアサービスとして企業レベルのデータ保護を備えた**ことが発表されました⁶³。これは教育機関向けにも展開され、教師と生徒が安心して生成AIを活用できる環境を提供しています²⁹。一方、一般向けのGemini（Google One利用者向けなど）に関しては利用規約上、入力内容が匿名化された形でサービス改善に使われる可能性があります。具体的なデータ保持期間は公表されていませんが、GoogleはユーザーレベルでBardのアクティビティ保存期間を制御できる設定を以前から用意しており、例えば自分のBard利用履歴を自動削除するよう期間設定することもできます。とはいえ、機密情報の取り扱いには企業向けサービスを使うことが推奨され、一般利用では基本的に**個人情報や秘密情報は入力しない**ほうが無難でしょう。セキュリティ面では、Google Cloud上のGemini API利用時には**データ暗号化やアクセス制御**などクラウドの既存セキュリティが適用されます。さらにVertex AIではリージョン選択やKMSによる鍵管理もでき、金融・医療レベルのコンプライアンス要求にも耐える設計です⁶⁴。まとめると、Gemini 2.5 Proは**Google標準の強力なセキュリティとプライバシー保護**があり、特に企業利用の場合は**OpenAI同様にデータが学習に使われない安心感**があります²⁷。ただし一般ユーザー向け利用では念のため注意を払い、必要に応じ匿名化や利用履歴設定を使うことが推奨されます。

10. UI/UX（使いやすさ、インターフェース、拡張性）

GPT-5 Proは主にChatGPTのインターフェースを通じて利用されますが、その**UI/UXは洗練され非常に使いやすい**と評価されています。ChatGPTはシンプルなチャット画面ながら、左サイドバーで**会話履歴を管理**できたり、新しいチャット開始や過去チャットの切り替えが容易です。また、各種**プラグイン**をボタン一つでオンオフでき、ウェブ閲覧や計算、画像生成など目的に応じた拡張機能をすぐ利用できます。GPT-5では内部的に複数のモード（通常応答モードと高精度推論モードなど）を自動で使い分ける仕組みがありますが、ユーザー

ずはそれを意識せず自然な対話を楽しめます。さらに、ChatGPT Plus/Proでは「高度データ分析」モードを選択することでPython実行環境がUI内に現れ、コードを入力して結果（グラフや表）を確認するといったインタラクティブな使い方も可能です。こうした対話型ノートブック的な機能も統合されている点で、UIの拡張性は非常に高いです。加えて、OpenAIはChatGPTにカスタム指示（Custom Instructions）機能を設けており、ユーザは自分のプロファイルや好みの回答スタイルを事前に設定できます。これにより、毎回細かな指示をしなくても常に自分仕様の応答が得られるなど、パーソナライズ性も考慮されています。全体として、GPT-5 Pro (ChatGPT)のUI/UXは直感的で学習コストが低く、それでいて高度な機能を内包している点が大きな魅力です。実際、とあるユーザは「ChatGPTのUIは素晴らしく、もしGoogleのGeminiも同等のUIになれば乗り換えたい」と発言しています³⁶³⁰。

Gemini 2.5 Pro Deep ThinkのUI/UXは、2025年現在いくつかの形態があります。（1）一般ユーザ向けにはGeminiチャットアプリ（旧称Bard）が提供されており、これはシンプルなチャットボックスと3つのドラフト表示（複数回答案）というBard譲りのUIです。（2）開発者・プロ向けにはGoogle AI Studio上のインターフェースやVertex AIのコンソールがあります。（3）そして何よりGoogle製品への組み込みという形でのUXが特徴的です。順に見ていくと、まずGeminiチャットアプリ自体の使い勝手は、「最低限の機能に絞ったシンプルさ」が長所と言えます。ChatGPTのような多機能さはありませんが、その分誰でも迷わず質問を入力して回答を得ることに集中できます。ただ、会話履歴の管理や再編集など高度な操作は限定的で、UI上でできることはまだ少ないです。あるRedditユーザは「GoogleはGeminiのUIをChatGPT並みに充実させてほしい。そしたらOpenAIのサブスクを解約してでも使うのに」と述べており³⁰、現状ではUI面でChatGPTに一日の長があると感じるユーザもいるようです。一方、Googleの各サービスとの統合という観点では、GeminiのUXは非常に便利です。例えばGmailで長いメールを開いた状態で「このメールを3行で要約して」と指示すれば、その場でGeminiが要約を表示してくれます。またGoogleドキュメント上で企画書を書いて「続きを提案して」と声をかければ、Geminiがドキュメント内に文章案を挿入してくれます³¹。スプレッドシートでも「売上列を分析して異常値をハイライトして」と指示すれば、シート上でマクロを動かすようにGeminiが処理を行います¹⁹。このように、ユーザが普段使っているツール内で違和感なくAI支援を受けられるUXはGoogleならではの強みです。拡張性という点では、Gemini自体にはChatGPTプラグインのようなサードパーティ拡張はまだありません。しかしGoogleは代わりに自身の豊富なAPI群とGeminiを統合しており、例えばGoogle Maps APIやカレンダー情報と連携して回答精度を高めるといった実験も進んでいます（Duet AIの機能など）。開発者向けにはGemini APIを通じ、LangChainやLlamaIndex等の既存フレームワークでGeminiをエージェントに組み込むことも可能です⁶⁵⁶⁶。総じて、Gemini 2.5 ProのUI/UXはシンプルさと統合性が特徴で、単体アプリの充実度ではChatGPTに譲るものの、エコシステム全体での使いやすさは抜群と言えるでしょう。

11. 価格体系とコストパフォーマンス

GPT-5 Proの価格体系は、個人向け利用とAPI利用で分かれます。個人向けではChatGPT Plusの月額約20ドル（日本では2,400円程度）のプランでGPT-5が利用可能になる見込みです（2025年8月時点でPlus加入者向けに提供開始）。ChatGPT Enterpriseの場合はユーザ数などに応じたカスタム契約になりますが、中小企業向けのChatGPT Team/Businessプランなども発表され、より利用しやすい価格設定が模索されています。API利用において、OpenAIはGPT-5の料金を極めて競争力のある水準に設定しました。その価格は入力1Mトークンあたり1.25ドル、出力1Mトークンあたり10ドルとされています³²。これは従来のGPT-4(8k)の半額以下であり、同時期のAnthropic Claude Opus 4.1（入力15ドル/出力75ドル per 1M）と比べても大幅に安価です⁶⁷。実際、ある開発者は「GPT-5はGPT-4oよりも安い。性能あたりの費用が継続的に改善している」と評価しています³³。OpenAIのSam Altman CEO自身も「この価格を実現できてとても満足している」と発言し⁶⁸、低価格路線が競合他社との価格競争を引き起こす可能性に言及されています⁶⁹。コストパフォーマンスという観点では、GPT-5は従来モデルより性能向上しているにも関わらず利用コストはむしろ下がっているため、非常に優れていると言えます。たとえばコード生成など1クエリあたりの所要トークンが減った（効率的になった）との報告もあり⁵⁵、同じタスクをこなすのに必要なコンピュータ資源が減っていることはユーザにとって経済的メリットです。今後、OpenAIはGPT-5の軽量版（GPT-5 Mini/Nano）も投入予定で⁷⁰

⁷¹、これらは更に低価格で提供される見込みです。総じて、**GPT-5 Proは最先端モデルとしては破格のコスト効率**を達成しており、大規模利用にも耐える価格設定になっています。

Gemini 2.5 Pro Deep Thinkの価格体系もGPT-5と同程度の水準で設計されています。個人ユーザー向けには**Google Oneのプレミアムプラン**（月額19.99ドル）にGeminiの先行利用権が含まれる形で提供されました³⁴。このプランではGoogleドライブ容量等もセットなので単純比較はできませんが、実質的に月20ドルでGemini 2.5 Proが使える計算です。また、一部地域やデバイス（Pixelユーザー等）にはベータ的に無料開放されたケースもあります。将来的にはGoogleが**スタンドアロンのGemini課金プラン**を用意する可能性もあります。API利用に関して、Googleは2025年4月にGemini 2.5 Pro (Preview)の料金を発表しました。その基本価格は**入力1Mトークンあたり1.25ドル、出力1Mトークンあたり10ドル**で⁷²、これはOpenAIのGPT-5と**全く同水準の料金**です³²。ただし、Googleの場合は**20万トークンを超える長大なコンテキスト使用や思考ステップが非常に多い出力**に対しては割増料金が課される設定でした³²。具体的には、コンテキストが20万トークンを超えると入力単価が倍（\$2.50/1M）、出力も1.5倍（\$15/1M）になると発表されています⁷²。これは巨大なやり取りを行う一部ヘビーユース企業に影響する程度で、通常のAPI利用では基本単価で利用できます。Geminiの低価格戦略はOpenAIに先行する形で、2024年Claudeなどより安価なFlashモデルを投入していた経緯もあります⁷³。ただOpenAIがGPT-5で追隨したため、結果的に**主要モデル間で価格水準が揃った格好**です。コストパフォーマンス面では、Gemini 2.5 Proは**性能が非常に高いため価格に見合った価値**がありますが、GPT-5と比べ特段有利・不利という差は小さいです。むしろ用途によって、例えば**既存のGoogleサービスと統合して使える分業務効率が上がる**ならGeminiの方が費用対効果が高いでしょうし、**ツールエコシステムが豊富な分開発効率が上がる**ならGPT-5の方が価値が高いでしょう。実際TechCrunchも「価格競争が始まるかもしれない」と指摘しつつ、ユーザー側からすれば**嬉しい競争**であると報じています⁷⁴。今後Googleがさらに値下げする可能性も示唆され⁷⁵、両者のコストパフォーマンスはますます向上していくと予想されます。現時点では、**GPT-5 ProとGemini 2.5 Pro Deep Thinkは価格体系も近似しており、コストパフォーマンスは互角**と言えるでしょう。

参考文献：（各比較項目中に示した【番号＋行】は以下の出典を指します）

【3】 Google DeepMind CTO Koray Kavukcuoglu, “**Gemini 2.5: Our most intelligent AI model.**” The Keyword (Google), Mar. 26, 2025 ^{6 5 14}

【11】 Ryan Morrison, “**I tested ChatGPT vs Gemini 2.5 Pro with these 3 prompts – and it shows what GPT-5 needs to do.**” Tom’s Guide, Aug. 6, 2025 ^{76 10}

【14】 Reddit - r/Bard, “**How tf is Gemini-2.5-pro so fast ?**” (user report), 2025 ^{2 36}

【21】 AI Tools, “**GPT-5 vs Gemini vs Claude: Real-World AI Agent Performance Tested**”, 2025 ^{35 13}

【24】 OpenAI, “**Introducing GPT-5**” (OpenAI Release Notes), Aug. 2025 ^{4 11 8 51 55}

【25】 Reddit - r/GeminiAI, 他ユーザーによるGemini評価投稿 (2025) ⁷

【26】 Dirox Tech Blog, “**Gemini 2.5 Pro: A Comparative Analysis Against Its AI Rivals (2025)**”, Apr. 2025 ^{31 19 24 72}

【27】 Eliyahu.AI, “**Model Comparisons (OpenAI O3 etc.)**”, 2025 ^{22 23 1}

【28】 Dirox Tech Blog, “**Gemini 2.5 Pro: ... (Creative Writing Assessment)**” (同上) ^{16 17}

[31] TS2 Technologies, “**GPT-5 vs Gemini: Inside 2025’s High-Stakes Frontier AI Showdown**”, 2025

9 21 47 62

[32] TS2 (同上: 多言語対応に言及) 20

[34] OpenAI, “**Enterprise privacy at OpenAI**” (ヘルプ文書), 2024 25 26

[35] Google Support, “**Gemini for Google Workspace FAQ**”, 2025 27 28 29

[37] Julie Bort, “**OpenAI priced GPT-5 so low, it may spark a price war.**” TechCrunch, Aug. 8, 2025 32

50 74 33

1 22 23 61 **Model Comparisons — Eliyahu.AI**

<https://eliyahu.ai/model-comparisons>

2 3 30 36 **How tf is Gemini-2.5-pro so fast ? : r/Bard**

https://www.reddit.com/r/Bard/comments/1jp1ou9/how_tf_is_gemini25pro_so_fast/

4 8 11 15 43 51 55 59 **Introducing GPT-5 | OpenAI**

<https://openai.com/index/introducing-gpt-5/>

5 6 14 18 37 38 39 40 44 **Gemini 2.5: Our newest Gemini model with thinking**

<https://blog.google/technology/google-deepmind/gemini-model-thinking-updates-march-2025/>

7 **Gemini 2.5 Pro is winning over new people : r/GeminiAI - Reddit**

https://www.reddit.com/r/GeminiAI/comments/1jo4um1/gemini_25_pro_is_winning_over_new_people/

9 20 21 47 48 57 58 62 **GPT-5 vs Gemini: Inside 2025’s High-Stakes Frontier AI Showdown**

<https://ts2.tech/en/gpt-5-vs-gemini-inside-2025s-high-stakes-frontier-ai-showdown/>

10 42 70 76 **I tested ChatGPT vs Gemini 2.5 Pro with these 3 prompts - and it shows what GPT-5 needs to do | Tom's Guide**

<https://www.tomsguide.com/ai/chatgpt/i-tested-chatgpt-vs-gemini-2-5-pro-with-these-3-prompts-and-it-shows-what-gpt-5-needs-to-do>

12 13 35 **GPT-5 vs Gemini vs Claude: Real-World AI Agent Performance Tested | AI Tools**

<https://aitools.inc/learn/gpt-5-vs-gemini-vs-claude-real-world-ai-agent-performance-tested>

16 17 19 24 31 34 45 52 53 54 72 **Gemini 2.5 Pro: A Comparative Analysis Against Its AI Rivals (2025 Landscape)**

<https://dirox.com/post/gemini-2-5-pro-a-comparative-analysis-against-its-ai-rivals-2025-landscape>

25 **Enterprise privacy at OpenAI**

<https://openai.com/enterprise-privacy/>

26 **Data Controls FAQ | OpenAI Help Center**

<https://help.openai.com/en/articles/7730893-data-controls-faq>

27 **Gemini for Google Workspace FAQ - Business / Enterprise**

https://support.google.com/a/answer/14130944?hl=en&co=DASHER._Family%3DBusiness-Enterprise

28 **Generative AI in Google Workspace Privacy Hub**

<https://support.google.com/a/answer/15706919?hl=en>

- 29 Gemini gets enterprise-grade data protection for education
<https://blog.google/outreach-initiatives/education/gemini-enterprise-grade-data-protection/>
- 32 33 49 50 67 68 69 74 75 OpenAI priced GPT-5 so low, it may spark a price war | TechCrunch
<https://techcrunch.com/2025/08/08/openai-priced-gpt-5-so-low-it-may-spark-a-price-war/>
- 41 Gemini 2.5 Pro's Response Quality Regression - Google AI Studio
<https://discuss.ai.google.dev/t/gemini-2-5-pros-response-quality-regression/91240>
- 46 Gemini Code Assist release notes | Google for Developers
<https://developers.google.com/gemini-code-assist/resources/release-notes>
- 56 Is Gemini Diffusion Better Than ChatGPT? Here's What We Know – Bind AI IDE
<https://blog.getbind.co/2025/05/22/is-gemini-diffusion-better-than-chatgpt-heres-what-we-know/>
- 60 Just realized ChatGPT Plus/Team/Enterprise/Pro doesn't actually ...
https://www.reddit.com/r/ChatGPT/comments/1im3a4m/just_realized_chatgpt_plussteamenterprisepro/
- 63 The Gemini app is now a core service with enterprise-grade data ...
<https://workspaceupdates.googleblog.com/2024/10/gemini-app-enterprise-data-protection-core-service-expansion.html>
- 64 Enterprise security controls for Gemini in Google Workspace
<https://workspace.google.com/blog/ai-and-machine-learning/enterprise-security-controls-google-workspace-gemini>
- 65 66 GPT-5 pro vs. Gemini 2.5 Pro Deep Think Comparison
<https://sourceforge.net/software/compare/GPT-5-pro-vs-Gemini-2.5-Pro-Deep-Think/>
- 71 GPT-5: Key characteristics, pricing and model card
<https://simonwillison.net/2025/Aug/7/gpt-5/>
- 73 GPT-5 | Hacker News - Y Combinator
<https://news.ycombinator.com/item?id=44826997>